

誰もが活躍し子供が自立できる学校

本年度の万田小学校の教育目標は「誰もが活躍し子供が自立できる学校」です。子供を育成するのではなく、子供自らが育つ環境にしていくことを念頭に置いていきます。教職員はもちろん、保護者・地域の方も同じ目線で「子供が育つ学校」を目指していきますでしょう。

夏休みが明けて約3週間ですが、この間も数多くの活躍がありましたので、今回は振り返りつつ、紹介していきたいと思えます。

まんだだより

教育目標を目指し

子供が育つ学校へ

子供も大人も活躍
双方の力を発揮




3年生の習字の授業に「さくら書道教室」の方が来られて筆の運び方などを手ほどき。上手に書けるようになりました(9/8)



9月から新しい食器に変わった給食。混乱を避けるため、多くの給食ボランティアの方がサポートしていただきスムーズに準備ができました(9/1~)



4年生は社会福祉協議会等の方々に点字を教わっていました。点字を自分で作って読んでもらいました(9/16)



ひまわりファームの拡張工事を加来建設の方がやってくれました。ショベルカーであつという間にできあがりでした(9/5)

◆これまでは子供に教えてあげる、してあげるといふことで育ててきました。しかし、30年後を考えれば、子供が主役・子供を主体者としていく必要があります。授業も地域活動も子供発信の取組により「子供が育つ学校」を目指します。



児童会リーダーが「地域のイベントに参加したい」と企画したところ、万田中央地区協議会からグランドゴルフ大会への参加依頼を受けました(9/14)



3年ぶりに神事が開催された四山神社秋の大祭で、地域の伝統芸能「巫女舞」を4名の6年生が披露されました。1年生も見学しました(9/13)



授業も自分たちで進めていくあらおベーシックに取り組んでいます。1年生も立派に学習リーダーができるようになりました(9/5)



環境美化委員会提案「クリーン大作戦」子供たちだけでなく保護者や地域の方も一緒に取り組む企画と実践が行われました(9/10)



図書委員会提案「学童クラブで読み聞かせ」校区の学童クラブに向いて絵本の読み聞かせをする企画。学童の子供たちも大喜びでした(9/7)



人権生活委員会提案「海陽中・地域の方と挨拶運動」海陽中生徒会も同様の企画を考えていたため、当日はさわやかなあいさつが響き渡りました(9/16)